

和歌山だよいい

令和4年 11月号
(2022)



和歌山城紅葉溪庭園 (和歌山市)

徳川頼宣が江戸時代初期に和歌山城西の丸御殿に築いた「紅葉溪庭園(西の丸庭園)」。四季折々の趣ある風景で見る者の心を癒やしてくれる庭園ですが、堀の中に浮かぶ「鳶魚閣(えんぎょかく)」の佇まいも相まって、紅葉の季節の眺めは格別です。秋の装いの和歌山県に是非お越しく下さい。(写真提供:公益社団法人和歌山県観光連盟)

CONTENTS

- 1 知事メッセージ p. 1
- 2 和歌山県政トピックス p. 2 ~ 9
- 3 お知らせ p. 10 ~ 13
- 4 ふるさと歳時記 p. 14



希望の星

20世紀少年という映画がしばらく前に流行って、私はテレビでこれを観ました。荒唐無稽な設定の映画だとは思いますが、その中でおじさん役が少女に対して放つ「カンナは俺たちの最後の希望だ」という叫び声が妙に記憶にとどまりました。

私もまだ元気ですが、今72歳でけっこうおじさんです。和歌山の未来は若い世代の活躍にかかっています。私は、職業柄、JCや商工会議所青年部や商工会青年部といった若い人たちのサークルへ来賓としてよく呼ばれますが、その度にこの言葉を多少のユーモアを込めて贈っています。こういう青年たちはよき仲間とともに社会課題にまじめに取り組んで、さまざまな奉仕活動などをしてきている立派な人たちです。しかし、私は、それを讃えているだけでよいのに、つつい和歌山の未来を託す彼らに「皆さん、奉仕活動も大事ですが、精いっぱい生業に励んでください」と言ったりしてしまいます。彼らの一人一人が社業に全力で取り組み、さまざまな工夫をしながら、業績を伸ばし、いずれ世界に覇を唱えるようになったら、和歌山は万々歳だからであります。

インフラや、競争環境や、利用できる産業政策や、後ろ盾となる福祉政策も随分整備してきました。そのうえで、若い世代がその若い活力と柔軟な頭脳と大なる野心を持って生業に励んでくれたら、それが報われる環境もできつつあります。実は、現に、製造業でも、農林水産業でも、飲食や流通やITの世界でも、若い人たちの活躍がだんだんと報じられるようになりました。テレビのニュースや特集、雑誌や新聞の報道にも若きエースがどんどん登場するようになりました。創業の場合もあるし、移住の人もあるし、家業を格段とレベルアップした人もいます。このような和歌山の希望の星に、もうすぐ知事を退くおじさんは心から期待しています。

和歌山県知事 仁坂 吉伸



10/11 記者会見にて

●「和歌山県花を愛する県民の集い 大会」が開催されました

「和歌山県花を愛する県民の集い」は、「花とみどりに彩られた郷土づくり」を実現するために、昭和 55 (1980) 年に当時県議会議員であった二階俊博衆議院議員によって設立された団体です。

これまで、素晴らしい花壇等の写真を募集する「花いっぱいコンクール」、花や緑に親しんでいただくためのハンギングバスケット教室や寄せ植え教室の開催など様々な取組を行っています。

10月1日に田辺市で開催された大会では、知事より、和歌山県花いっぱい運動推進功労者と花いっぱいコンクールの和歌山県知事賞受賞者の皆さんに感謝状や表彰状をお贈りしました。

今年度の「第 26 回和歌山県花いっぱいコンクール」には、昨年度の 126 点を上回る 131 点の応募がありました。気持ちが沈んでしまいそうなコロナ禍の中、私たちの心に癒しと元気を与えてくれる花を育てる文化が、県内で着実に広がっていることを大変嬉しく思います。

また、和歌山県は世界的旅行ガイドブックである「ロンリープラネット」のサステナビリティ部門において世界で唯一選出されたほか、「じゃらん宿泊旅行調査 2022」都道府県魅力度ランキングの総合満足度において日本一を獲得するなど、その魅力は国内外から高く評価されており、今後より多くの観光客の来県が予想されます。

さらに、令和 5 年 3 月には田辺市で「第 61 回全日本花いっぱい田辺大会」の開催が予定されていることから、花が咲き誇るまちで来県者を「おもてなしの心」をもって温かくお迎えできるように、県内で花と緑を広げる活動が一層活発となることを大いに期待しています。



美しい花々で沿道が彩られています



花いっぱい運動推進功労者及び和歌山県花いっぱいコンクール受賞者の皆さんと知事

■令和4年度和歌山県花いっぱい運動推進功労者知事感謝状被贈呈者一覧（敬称略）

団体名（代表者名）	主な功績
NPO法人和歌の浦 万葉薪能の会 （松本 敬子）	「高津子山を桜の山に」をスローガンに桜咲き乱れる自然豊かな山になるよう活動を行い、以前は雑木や雑草が生い茂り、荒れていた高津子山が、今では春に一面桜が咲くまでとなった。趣旨に賛同する市民がボランティアで加わり、年に10回程度の清掃整備や桜の植樹活動を継続するなど、花のある環境づくりや環境保全に多大な貢献をした。
下佐々老人クラブ （川嶋 秀幸）	国道370号の唐戸瀬橋橋詰にある花壇に、四季折々の花を植栽し、日ごろの花の管理（水やり、草ひき等）も会員が自主的に行い、地域の主要道路沿いを彩り豊かにするなど、地域の美化に多大な貢献をした。
風市花の会 （長田 正光）	風市自治会や風市環境保全会と共同で環境美化活動を行い、うるおいのある街づくりや地域コミュニティの推進を図るため、多数のプランターや花壇に四季折々の花を植栽している。プランターは地区の集会所等地域の様々な場所に設置し、花壇は県道和歌山橋本線沿いに位置しているため、地域住民、地域を訪れる人や道を行き交う多くの人々に安らぎを与え気持ちを豊かにするなど、地域の美化や地域コミュニティの活性化に多大な貢献をした。
寿老人クラブ （松谷 要）	ゆめさきとんねる付近の高野街道沿道において、四季折々の花の植栽や草刈り・草引きなどの美化活動に努めており、多くのハイカーや道行く地域住民の目を楽しませている。また、繁野児童公園においても、草刈り・草引きの美化活動を継続的に行っており、地域の美化や花のある豊かな環境づくりに多大な貢献をした。
原谷ふる郷会 （梅田 一二三）	自然環境に恵まれた原谷区を、若者が住みよく老人にやさしさを与える地域に、との願いから、長年にわたり地域振興のための活動を行っている。県道・町道・熊野古道の沿線に、つつじ、さつき、さざんか等の植栽や年に3回、花木の手入れや草刈りを行うなど、地域の美化や地域コミュニティの活性化に多大な貢献をした。
宝来町花の会 （山本 馨）	国道424号沿いの16箇所の花壇で植栽活動を行い、国道を行き交う観光客、ドライバー、学生など大勢の目を四季折々の花で楽しませている。また、国道沿いには店舗が並んでおり、来客の目に触れる機会も多く、地域の美化や花のある豊かな環境づくりに多大な貢献をした。

* 上記被贈呈者の他に、「紀美野町まちづくり推進協議会 美しい郷づくり部会」、「紀の川市荒見自治会」、「森岡田人の会」、「かがやきの会」、「西郷老人会」、「むつみ町内会」には、和歌山県花を愛する県民の集い二階会長から功労者感謝状が贈られました。

* また、第26回和歌山県花いっぱいコンクールの各部門で最優秀賞を受賞された「みなべ町立高城小学校【学校の部】」、「神子浜町内会【職場・地域の部】」、「佐々木裕哲さん【家庭の部】」には、知事賞が贈られました。

● 「京都和歌山県人会創立 130 周年記念祝賀会」が開催されました

9月25日に「京都和歌山県人会創立130周年記念祝賀会」が盛大に開催されました。

川口直也^{かわぐちなおや}現会長をはじめ同県人会の歴代会長及び会員の皆さんには、明治25（1892）年の創立以来、130年という長きにわたってふるさと和歌山の発展のために精力的にご活動いただき、大変ありがたく思っています。

記念祝賀会では、川口会長から、「人をつなぎ」「故郷とつながり」「歴史をつなぐ」といった県人会の持つ「つなぐ」役割を担い、更に盛り立てていく旨の挨拶をされたほか、仁坂知事が「誕生150年を迎えた和歌山の今と未来」と題して記念講演を行いました。



川口会長の挨拶の様子



知事の16年間の振り返る思い出の映像が上映されました

そして、事務局の皆さんの温かい気持ちがこもったサプライズ演出として、知事の16年間の軌跡を辿った映像が上映され、会場は懐かしさと大きな拍手に包まれました。

皆さんにはふるさと和歌山への想いを持ち続けていただけるように、県としてこれからも様々な施策に一生懸命取り組んでいかなければならないと決意を新たにしました。

令和5年10月には、海外・県外の県人会が一堂に会する「第2回和歌山県人会世界大会」を開催する予定です。県人会の皆さんには是非、御家族と共に、和歌山にお越しいただき、他の同志の皆さんとの相互の交流を図るとともに、郷土への誇りを高め合ってくださいと思います。



知事記念講演の様子



京都和歌山県人会の皆さん

● プレミア和歌山の首都圏での PR イベントを開催しました

県では、農林水産物、加工食品、工芸品など、数ある“和歌山のめぐみ”の中でも特に優れたものを「プレミア和歌山」に認定し、推奨してきました。

10月7日にホテル椿山荘東京（東京都文京区）において、プレミア和歌山の素晴らしさについて首都圏の皆さんに広く知っていただくため、メディア関係者や流通業界関係者等に向けた PR イベントを開催し、146名の方にお越しいただきました。



受賞者の皆さん、残間委員長、プレミア和歌山パートナーの皆さんと知事

プレミア和歌山では、審査委員会委員長として残間里江子ざんまりえこさんに就任いただいているほか、プレミア和歌山の魅力を発信していただく応援団「プレミア和歌山パートナー」として各界の著名な方々にも就任いただいています。

PR イベントでは、10事業者がブースを構えて自慢の商品を PR する展示交流会をはじめ、プレミア和歌山の食材を使用した料理の試食、プレミア和歌山推奨品の製造・制作風景動画の上映などを行いました。

さらに、残間委員長、プレミア和歌山パートナー、令和3年度特別賞・奨励賞受賞者の皆さん、そして知事によるトークイベントでは、愛情をもって大事に育てている様をお姫様みたいと言われたことに由来して「いちじくプリンセス」と名付けたことや、「竹製バスロッド」の制作においては、幾度となく試行錯誤を繰り返しながら納得できる機能性を追求していったことなど、それぞれの商品にまつわるストーリーが紹介され、参加者の方々は興味深そうに耳を傾けていました。

作り手の工夫と努力の結晶であるプレミア和歌山の品々を、皆さん是非お買い求めください。

令和3年度プレミア和歌山 審査委員特別賞・奨励賞 受賞推奨品

■特別賞■



金山寺味噌

(太田久助吟製)

■奨励賞■



紀州梅まぐろ梅

(株式会社岩谷)



竹製バスロッド

(紀州へら竿和人)



本まぐろ
希少部位3点セット

(串本食品株式会社)



いちじくプリンセス

(有限会社ハスハス農園)

●令和4年度和歌山県白梅賞表彰式を開催しました

10月5日、県庁の正庁において、「令和4年度白梅賞表彰式」を開催し、11名の方々を表彰しました。

県では、社会福祉に献身的に活動し、その業績が顕著であり、他の模範となる方々を讃えるため、昭和48年に「和歌山県白梅賞」を制定しており、今回で50回目を迎えます。今回を含めてこれまで409名の方々を表彰してきました。



令和4年度白梅賞受賞者の皆さんと知事

式典では、司会者から受賞者お一人お一人の御功績を紹介し、知事から表彰状と記念品をお贈りしました。続いて、石橋由美子さん（社会福祉法人つわぶき会障害者支援施設綜成苑）から受賞者代表として、受賞の喜びとともに、先輩や同僚をはじめ支えてくれた方々への感謝の気持ちやこれからも福祉の最前線で一生懸命職務に励んでいくという決意が述べられました。

受賞者の皆さんのこれまでの多大な御尽力に深く敬意を表しますとともに、県では、誰もが人権を尊重され、地域社会の一員として役割を持ち、世代や分野を超えて支え合いながら、自分らしい生活を送ることができる地域共生社会の実現に向けて全力で取り組んでいきます。

■令和4年度和歌山県白梅賞受賞者の皆さん（五十音順・敬称略）

氏名	所属	職名
石橋 由美子	社会福祉法人つわぶき会 障害者支援施設綜成苑	看護師
榎本 春美	社会福祉法人和歌山県福祉事業団 グループホームしゅり	支援員
太田 作也	社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会	事務職
大畑 弥	社会福祉法人和歌山市社会福祉協議会	事務職
木原 見千子	社会福祉法人有田市社会福祉協議会 有田市福祉館なごみ	居宅介護支援専門員
谷本 千恵子	伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合 養護老人ホーム国城寮	栄養士
早野 利代子	御坊日高老人福祉施設事務組合 特別養護老人ホームときわ寮	総括主任介護員

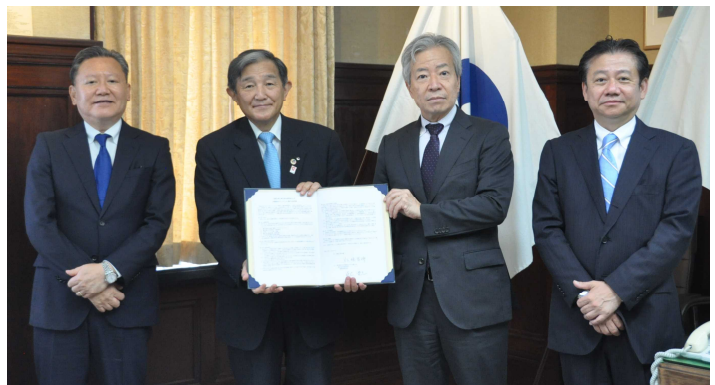
■令和4年度和歌山県白梅賞受賞者の皆さん（前頁からの続き）

氏名	所属	職名
部谷 匡子	社会福祉法人和歌山つくし会 事業所内保育所つくしの里こども園	主任保育士
堀川 佳孝	社会福祉法人高陽会 グループホームさくらの丘	介護職員兼介護支援専門員
宮脇 早江子	社会福祉法人九度山町社会福祉協議会	介護支援専門員
吉田 雅子	社会福祉法人萬年青友の会 公設民営三石保育園	保育士

●株式会社読売旅行と大型観光キャンペーンに関する協定を締結！

県では、観光に関わる団体・事業者や各産業界、県内市町村と相互に連携し、和歌山を広く全国に紹介宣伝することで観光客の誘致拡大を図り、観光振興・持続可能な観光地づくりによる地域課題の解決や地方創生を目的として、10月6日に株式会社読売旅行と大型観光キャンペーンに関する協定を締結しました。

同社は、自治体と連携して旅行商品の造成や地域活性化事業を行う「読売ロマンの旅」を推進しており、平成11(1999)年からの集客人員実績は556万人以上を誇っています。このたび、令和5(2023)年度の「読売ロマンの旅 in 紀伊和歌山」として本県が実施地域に選定されたため、協定書の締結に至りました。



協定書を手にする(株)読売旅行貞広貴志取締役副社長と知事

これまで、県では多様な旅のスタイルや嗜好に対応したテーマ別の取組による誘客の多角化、旅行需要・県内消費の喚起を柱に、「蘇りの地、わかやま」キャンペーンを更にパワーアップして推進するとともに、メディアや旅行会社と連携し、世界遺産「高野山・熊野」「サイクリング王国わかやま」「水の国、わかやま。」「わかやま歴史物語」など、旬の観光素材を継続的に情報発信し、関西圏や首都圏等からの誘客を推進してきました。

都道府県の中では全国初となる今回の協定締結を契機として、①観光素材の企画・開発、ブラッシュアップ、②観光素材の広報宣伝・情報発信、③各種イベントの企画・実施、④観光客の誘致促進、誘客対策について、読売新聞グループが持つ多くの情報発信媒体を活用することで、コロナ禍からの回復を着実なものとし、疲弊した観光産業を活性化させる起爆剤として全国への大きな観光PRにつなげていきます。

●国の重要文化財（建造物）が新たに指定されます！

10月12日に国の文化審議会から、湯浅町の「角長（加納家住宅）11棟」を国重要文化財として指定するよう文部科学大臣に答申されました。

「角長」は、湯浅町湯浅伝統的建造物群保存地区の北西部に位置し、大仙堀に面して敷地を構えた醤油醸造家の住居及び醸造施設群です。天保12（1841）年に現在地で創業し、以降現在に至るまで醤油醸造町として評価されている湯浅伝統的建造物群保存地区において醤油醸造を続ける現役の施設であり、歴史的景観を色濃く残す貴重な文化財です。



（右）主屋、（その奥）醤油蔵、（左）角蔵、（その奥）樽蔵

11棟のうち、「主屋」は、木造、平屋建一部二階建、瓦葺で、主体部は天保12年の創業時のものと考えられています。表構えは格子窓と縦板張りを基調とし、二階には虫籠窓を開いた伝統的な町家の外観です。



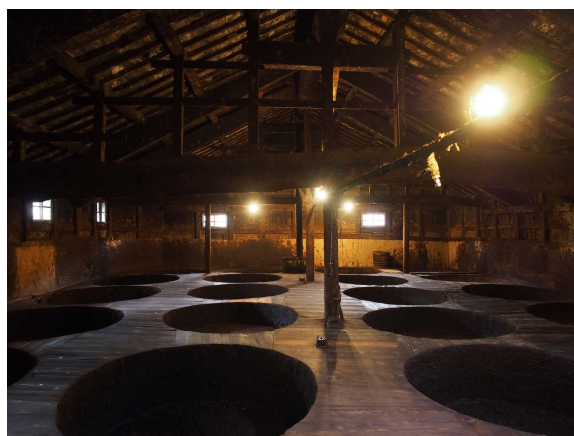
（右から）仕込蔵、麴室、穀蔵など

「麴室」は、木造、平屋建、瓦葺で、醤油作りに必要な麴を仕込む建物です。明治39（1906）年に整備が行われ、内部はレンガ積みの壁で東西二室に区切られました。

「醤油蔵」は、木造、平屋建、一部二階建、瓦葺で、江戸末期に建設後に増築を繰り返した結果、構造は大きく三棟に分かれています。内部は間仕切りのない大きな土間の空間で、仕込桶や圧搾機、大釜が据えられ、

仕込作業や圧搾、火入などの工程が行われています。

「仕込蔵」は、醤油の醸造を行う大規模な蔵です。木造、二階建、瓦葺で、江戸末期に建設されました。内部は24基の仕込桶を並べ、桶の天端にあわせて全面に床板を張り、仕込作業を行う二階をつくっています。仕込蔵の二階は天井を張らない一室の大空間で、梁や棟木には、醸造による酵母が付着し、角長の醸造施設の中でも特に重要な空間となっています。



仕込蔵二階の内部

なお、当該文化財が指定されれば、湯浅町管内では初の重要文化財となり、本県の国重要文化財（建造物）は85件となります。

● 栃武蔵関が令和4年度大相撲九月場所における十両優勝報告に知事を表敬訪問しました

令和4年9月11日から25日までの15日間にわたって、両国国技館（東京都）で行われた大相撲九月場所において、11勝4敗という好成績を納め、見事十両優勝を果たした^{どちむさし}栃武蔵関が10月5日に知事を表敬訪問しました。



栃武蔵関と知事

栃武蔵関（本名：^{かんのようた}菅野陽太さん）

は、埼玉県入間市出身の23歳で、入間少年相撲クラブへの入部を機に本格的に相撲を始めました。平成26年に県立箕島高等学校普通科スポーツコースに入学。令和3年に中央大学法学部を卒業後、春日野部屋に入門し、三段目百枚目格付け出しで初土俵を踏みました。令和4年7月には、西幕下二枚目5勝2敗の成績で十両昇進を果たしています。

なお、箕島高等学校卒業生の新十両昇進は栃乃和歌（現：春日野親方）、大輝煌、木村山（現：岩友親方）に次いで4人目となっています。

栃武蔵関には、より高みを目指して大活躍されることを期待しています。

● 深海産業有限会社の「新・棕櫚ほうき」が「第94回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2022」でグランプリを受賞しました！

令和4年9月7日から9日まで開催された、国内最大のギフト・雑貨の国際見本市「第94回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋2022」において、深海産業有限会社の「新・棕櫚ほうき」が、400社以上の出展商品すべての中からグランプリ商品に輝きました。

「新・棕櫚ほうき」は、棕櫚繊維に特殊コートを染み込ませて配列を整えることにより、掃き心地が向上しているのみならず、持ち手には、海南市の塗り職人 YOSHIHIKO FUJII さんによる漆塗りを施したことで、漆の抗菌作用も期待できるなど、様式美と機能美を両立させた、新しい棕櫚ほうきです。

県では、引き続き、中小企業が持つ優れた技術力に裏打ちされた製品「和歌山産品」を国内外に発信する取組を推進していきます。



新・棕櫚ほうき

●「和歌山県とインド・マハラシュトラ州との友好交流によるミティラー美術館コレクション展 インド・コスモロジーアートの世界」開催中

県では、インド経済を牽引するマハラシュトラ州と平成25年10月に覚書を締結し、交流をスタートしました。その後、広範な分野における相互の交流拡大を目的として、着実に友好関係を深めてきました。

本年は日本とインドの国交樹立70周年という記念の年であり、更に来年には県とマハラシュトラ州



ジヴァ・ソーマ・マーシェ 《村の結婚式》1994年

との覚書締結10周年を迎えることから、和歌山県立近代美術館では、ミティラー美術館のコレクションから約50点を紹介する展覧会を開催しています。

新潟県十日町市の山中にあるミティラー美術館は、1970年代を中心に活動した前衛音楽グループ「タージ・マハル旅行団」のメンバーである長谷川時夫はせがわときおさんが設置・運営する私設美術館です。1982年に開館した同館は、ミティラー地方で3000年にわたって母から娘へと伝承されてきた壁画「ミティラー画」、先住民族であるワルリー族が描く「ワルリー画」など多数の作品を収蔵しており、これら多彩なコレクションの質と量は世界に類が無いものとして、インド政府をはじめ国内外から高く評価されています。



オープニング式典での交流の様子

また、10月7日に開催されたオープニング式典では、テープカットのほか、インド舞踊が披露され、和歌山大学教育学部附属小学校の児童たちとの交流も行われました。

コスモロジーあふれるインド美術の魅力に触れていただくことで、和歌山県とインドの友好を深める機会となることを期待しています。

<開催概要>

会 期	令和4年10月8日（土）～12月25日（日）
開館時間	9時30分～17時（入館は16時30分まで）
休 館 日	毎週月曜日
観 覧 料	一般350円(270円)・大学生240円(180円) *（ ）内は20名以上の団体料金 *同時開催の「コレクション展2022-秋冬 特集：田中恒子コレクション」と共通料金で観覧可 *高校生以下、65歳以上の方、障害のある方、県内に在学中の外国人留学生は無料 *毎週第4土曜日（11月26日、12月24日）は「紀陽文化財団の日」として大学生は無料 *11月22日（火）は「和歌山県ふるさと誕生日」により入場無料 *12月4日（日）は入場無料

● 県立紀伊風土記の丘で秋期特別展「紀氏、大地を開く―宮井用水と耕地開発―」を開催中です

県立紀伊風土記の丘では、現在、秋期特別展として「紀氏、大地を開く―宮井用水と耕地開発―」を開催しています。

紀氏は岩橋千塚古墳群を築き、『日本書紀』、『古事記』に朝鮮半島で活躍したことが記される古代豪族です。古墳時代以降には紀(紀伊)国造家として国を治める一方で、紀伊国一宮として祭祀の中心的な役割を占める日前・

国懸神宮を奉斎してきました。そして中世には、和歌山平野一円を神領として支配し、羽柴秀吉の紀州攻めを経て、その系譜は現代にも繋がっています。



総光寺由来井太田城水責図〔和歌山市指定文化財〕



名草溝の原形とされる音浦遺跡の古墳時代大溝

紀氏は「宮井用水」という灌漑水路によって、古墳時代から中世にかけて耕地開発を行い、勢力基盤としての穀倉地帯を和歌山平野に築きました。

「名草溝」を原形とし、総延長 28km にも及ぶ大規模灌漑水路である宮井用水は、現在も和歌山平野を潤しており、紀氏がその礎を築いたといえます。

また、宮井用水は、古墳時代以降に延伸や取水口が変化してきた歴史があり、それに伴って流域の耕地開発が行われてきました。

今回の特別展では、考古資料と文献史料の展示を通じて、古墳時代から中世、そして現代まで脈々と続く紀氏と宮井用水について探るとともに、近畿各地の発掘調査の成果や耕地開発の進展について紹介します。

宮井用水形成の謎や約 2,500 年間の耕地開発の歴史に迫るなど、見どころが盛り沢山ですので、皆さん是非お越しください。

<開催概要>

会 期	令和4年10月1日(土)～12月4日(日)
会 場	和歌山県立紀伊風土記の丘 資料館常設展示室及び企画展示室
開館時間	9時～16時30分 (入館は16時まで)
休 館 日	毎週月曜日(月曜日が祝日又は休日の場合は次の平日)
観 覧 料	一般360円(290円)・大学生220円(160円) * ()内は20名以上の団体料金 * 高校生以下、65歳以上の方、障害のある方、県内に在学中の外国人留学生は無料

●ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）のご案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを頂いております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイトをご利用ください。

また、和歌山県外にお住まいで1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品等の中から、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良産品を是非ご堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附にご協力いただきますようお願い申し上げます。

ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。
和歌山県では、「元気な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。
ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



ふるさと和歌山応援サイト

検索

各ポータルサイトのQRコードはこちら



ふるさとチョイス



ふるなび



ANAのふるさと納税



ふるラボ



JALふるさと納税

**** ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては ****

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 棚野、宮田、小弓場

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 前

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

① 新型コロナウイルス感染症対策【お礼の品なし】

新型コロナウイルス感染症の対策をすすめます。



⑧ 地元企業への就職を促進する奨学金返還支援

和歌山の経済を牽引する製造業や情報通信業の将来の担い手となる人材の確保を支援します。

- 理系の大学生等を対象に県内の製造業や情報通信業などの業務を行う企業に就職し、3年勤務した場合、奨学金の返還を最大100万円助成します。



② 生涯スポーツ・文化の振興

全国規模の大会の開催を通じて、生涯スポーツの振興と文化力の向上を図ります。

- ワールドマスターズゲームズ関西
- 全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会などの開催をすすめます。



⑨ 学校図書館や県立図書館の蔵書の充実

和歌山の未来を担う子供の育成や県民の読書文化の向上のため、学校図書館や県立図書館の蔵書の整備をすすめます。

- 県立学校の図書館の蔵書の充実をすすめます。
- 県立図書館の蔵書の充実をすすめます。



③ 子供たちの教育環境の充実【お礼の品なし】

各学校において、「教育環境の充実」、「特色ある学校づくり」などをすすめます。

母校など寄附をしたい高等学校（私立も含む）や特別支援学校があれば指定することができます。



⑩ わかやまの美しい海づくり

黒潮の恵みを受ける和歌山は、リアス式の美しい風景に彩られた約652kmにも及ぶ長い海岸線と数多くの海水浴場を有しています。ふるさとの海を守り、より美しくして海のレクリエーションを盛んにします。

- 白浜海水浴場
- 片男波海水浴場などの砂浜の整地をすすめます。



④ がん対策の充実

和歌山はがんで亡くなられる方が多い県です。がんになっても安心して治療が受けられ、自分らしく生きることができるよう支援制度を充実していきます。

- 所得等が一定以下のがん患者の方に対して、先進医療の一部を補助します。
- 若年がん患者の方に対して、生殖機能の温存や療養生活の充実に向けた支援を行います。



⑪ わかやまの文化財の保護

和歌山県には重要な歴史資産がたくさんあり、全国で国宝は6番目、重要文化財は7番目に多いところです。ふるさとの大切な文化財を保全して未来に伝え、郷土の活性化に寄与します。

- 国・県指定文化財の建造物修理や史跡整備などを支援します。



⑤ 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援

和歌山県は、犬・猫の殺処分をなくすことを目標に、地域猫活動や新しい飼い主を探す活動に取り組む地域住民やボランティアを支援しています。

- これまでの活動で約5,300匹の野良猫に不妊去勢手術が施され、新しい家族が見つかった犬・猫は約2,000匹います。この支援を継続して、早期に「殺処分ゼロ」を実現します。



⑫ 大切なふるさとの森を守り育てる

和歌山は古くから「木の国」と呼ばれ、県土の77%が森林です。森林は洪水や渇水の緩和、生物多様性の保全、地球温暖化防止と限りない恵みを与えてくれます。かけがえのない森林を守り育て、継承していきます。

- 和歌浦地区等の松くい虫防除対策をすすめます。



⑬ 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用

和歌山の世界遺産をかけがえのないふるさとの宝、人類共通の宝として保全・活用し、次世代に継承していきます。

- 参詣道の維持管理・パトロールを行います。
- 世界遺産・周辺地域の風水害等に対する緊急修繕等を行います。



⑭ わかやまのナショナル・トラスト

和歌山は、みどり豊かな山々と雄大なリアス式海岸など、かけがえのない自然や歴史的資産を数多く有しています。これらの自然を保全し、次の世代に引き継いでいきます。

- 県民の公有財産として未永く保全していくために、自然環境の整備や土地の公有化をすすめます。



⑦ 南紀熊野ジオパークの推進

令和元年7月に完成した「南紀熊野ジオパークセンター」を拠点に、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組を推進します。

- 南紀熊野ジオパークセンターの充実をすすめます。



⑭ わかやまの農林水産業の振興

和歌山県の農林水産業は、地域経済や雇用を支える重要産業であり、食料供給や自然・景観保全など、様々な役割を果たしています。大切な農林水産業を振興し、次の世代に引き継いでいきます。

- 農林水産業の担い手の確保・育成対策を充実させます。
- 農林水産業の生産性の向上をすすめます。
- 農林水産業の魅力を国内外へ発信します。



※当事業につきましては、状況の変化等により、変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。
※お寄せいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

イベント情報（11月下旬～12月下旬）

***新型コロナウイルス感染症の影響等により、規模の縮小や中止となる場合があります。最新の情報は、各主催者へお問い合わせください。**

開催日・時期	行事名	場所	問い合わせ先
11月下旬	新嘗祭(牛の舌餅投げ)	水門吹上神社 (和歌山市)	水門吹上神社 073-422-7007
12月4日	ねんねこ祭り 「朝日遥拝行列」	木葉神社 (串本町)	木葉神社 0735-62-0470
12月中旬	しまい観音 厄除開運大根炊き	紀三井寺 (和歌山市)	紀三井寺 073-444-1002
12月下旬	那智の滝ライトアップ	熊野那智大社 (那智勝浦町)	熊野那智大社 0735-55-0321
12月下旬	和歌山城天守閣の しめ縄飾り	和歌山城 (和歌山市)	和歌山城整備企画課 073-435-1044

自然・風物情報（11月下旬～12月下旬）

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
11月下旬	紅葉見ごろ 県内各所	紅葉溪庭園 (和歌山市) 奇絶峡 (田辺市) 瀬峡 (新宮市)	和歌山城整備企画課 073-435-1044 田辺観光協会 0739-26-9929 熊野交通 0735-22-6220
12月上旬	センリョウの収穫	真妻地区 (印南町)	印南町役場産業課 0739-42-1737
12月上旬	熊野本宮大社で 大しめ縄張り替え	熊野本宮大社 (田辺市)	熊野本宮大社 0735-42-0300
12月下旬	ツキノワグマ「ベニー」 仕事納め	和歌山城公園 (和歌山市)	和歌山城整備企画課 073-435-1044

～編集後記～

和歌山も実りの秋を迎えました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。
今月も「和歌山だより」をご覧いただきありがとうございます。

県政トピックス（P4）でもお伝えしております「京都和歌山県人会創立 130 周年祝賀会」に参加させていただきました。大阪、堺、神戸の各県人会のみなさまとともに、およそ 100 人の方が参加されていました。コロナの影響でここ 3 年くらい県人会の開催が見送られていたため、県人会のみなさまに初めてお会いすることができたのですが、いつになく緊張ぎみでご挨拶申し上げたところ、「編集後記の人ですな」「知事メッセージと編集後記をはじめに読んでいます」との温かいお言葉をいただき、一気に緊張がほぐれて、新しいご縁をいただくことができました。ありがとうございます。

祝賀会も中盤を迎え、司会の方の「スクリーンにご注目ください」というアナウンスに続き、県人会のみなさまの活動のご様子がスライドショーで紹介されました。和歌山県の市町村の風景も次々に登場し、会場からは「懐かしいのお」というお声も。美しく、それでいて素直で飾らない真っ直ぐなナレーションに会場全体が聞き入りながら、素敵なサプライズに釘付けになりました。続いて、スクリーンには、仁坂知事の 16 年間の振り返る数々の思い出のショットが映し出され、会場からは、当時を懐かしむお声とともに大きな拍手をいただきました。なんて素敵な、温かいサプライズでしょうか。

ちなみに、素敵なナレーションは、京都県人会の「希望の星」でいらっしゃる大学生の方が担当してくださったと伺いました。お忙しい中、このような素晴らしいプレゼントにお力を注いでくださったすべてのみなさまに深く感謝申し上げます。

今回お会いできました京都、大阪、堺、神戸の各和歌山県人会のほか、東京では在京和歌山県人会、名古屋では東海県人会のみなさまが活動してくださっています。詳しくは、秘書課（下記参照）までお気軽にお尋ねください。

日中は過ごしやすいですが、朝晩はひんやりする日が多くなってまいりました。
みなさま、体調にはくれぐれもお気をつけてお過ごしください。

知事室 秘書課長 西山 雅美



★「和歌山だより」Web 版を和歌山県ホームページにアップしています。Web 版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので、是非ご覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。（下記の FAX（様式自由）、E-Mail 等でお願います。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」
の発行以外の目的には、使用いたしません。



2022 年（令和 4 年）11 月 NO.174

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通 1 - 1

TEL 073-441-2026